

第3回 定例会

総務文教委員会 主な審査内容

●令和3年度大竹市一般会計
補正予算(第4号)

Q 小学校教育振興事業と中学校教育振興事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行が延期・中止になった場合のキャンセル料と説明を受けたが、延期の期間について問う。

また、延期や中止の基準についての保護者の受け止め方を問う。

A 現在、全国的に多くの学校が延期や行き先の変更をしているため、希望する時期と場所に延期することは難しい状況である。旅行会社に協力していただき、できる限り年度内に実施したいと考えている。

ただし、小学校の修学旅行は6年生が参加するため、年度内に実施ができれば中止となる。

中学校の修学旅行は2年生が参加するため、年度内の実施ができれば保護者の意見も参考に3年生の行事等を勘案して、3年生に延期することも考えている。

また、中止や変更の目安について

ては校長会で県の基準に準じて5つの目安を示している。

1つ目が、国が広島県に緊急事態宣言を発し、外出制限を要請している場合。

2つ目が、旅行先の県知事が国民に向けて当該旅行先への旅行を自粛するように要請する場合。

3つ目が、広島県知事が県民に向けて県外への移動を自粛するように要請する場合。

4つ目が、修学旅行の期日を含む期間に学校の全部または当該学年が臨時休業となる場合。

5つ目が、大竹市の状況、大竹市民の生活圏の状況、学校の状況等を考えたときに、実施すべきではないと学校として判断する場合。

この目安については、修学旅行の説明会において学校側から保護者に説明をしており、これについて保護者からの意見は特にありませんでした。



Q 介護施設整備等補助事業で5602万8000円が計上されている、メープルヒル病院の整備のためと聞いているが、詳しい内容について問う。

A 介護施設整備等補助事業は、メープルヒル病院の現在の介護療養型医療病床が法改正によって廃止されることが決まっており、現在ある92床のうち42床を介護医療院に転用する整備費用として補助をする。

また、42床の約半数に酸素吸入器が導入できるように整備をする。酸素吸入器は配管等を含めて整備するため、特殊な工事が必要となり、4000万円前後の費用となります。

解説

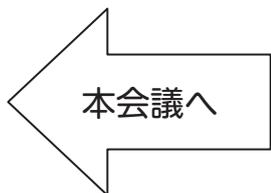
介護保険法第8条第29項

介護医療院とは、要介護者であって、主として長期にわたり療養が必要である者に対し、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話を行うことを目的とする施設。



メープルヒル病院ホームページより

採決の結果、すべての議案が
原案のとおり可決



本会議での採決の結果
原案のとおり可決

第3回定例会は、令和3年9月2日～9月24日の23日間行われました。
 詳細については、令和3年12月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、
 市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページから録画中継もご覧いただけます。

生活環境委員会 主な審査内容

● 令和2年度大竹市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

● 令和2年度大竹市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

● 令和2年度大竹市工業用水道事業会計決算の認定について

Q 小島潮遊池水路浚渫工事の概要と、金額、その効果について問う。

A 小島汚水中継ポンプ場から小島雨水排水ポンプ場の間に、葦が繁茂していた土砂の一部を、幅4メートル深さ1メートルで工事延長が215メートル掘削を行った工事金額は1144万円である。流れがスムーズになり、大雨の時に雨水排水ポンプを稼働させると、吸い込み口に流着していた水草等が減り、撤去作業の軽減にもつながっている。

Q 令和2年度の一日最大配水量が、令和元年度比で約24%増加している理由を問う。

A 令和3年1月7日から10日まで

続いた寒波により、市内各所で発生した家庭の給水管の凍結破損による漏水が340件程度発生し、水道工事店が全ての修理を完了するまでかなりの時間を要した。そのため令和2年度の一日最大配水量が、令和元年度比で約24%増加したと考えられる。

Q 広島県内の水道広域連携について、大竹市は統合以外の連携を選択したが、今後の他市町との連携はどのようなのか問う。

A 統合以外の連携の例として、従来から広島市が技術研修を実施する際に、各市町に参加をするよう、呼びかけるなどの取り組みが行われている。こうした連携は継続されていくものと考えている。

● 令和3年度大竹市公共下水道事業会計補正予算（第2号）

Q 下水処理場の監視制御システムの不具合部分の更新をすることの詳細について、また計画的な更新も必要と考えるが今後の考えについて問う。

A 監視制御システムは大竹市下水

処理場のすべてを監視・操作し、記録の確認やデータの出力が行える装置で、重要な設備であり、早急に不具合を解消する必要がある。

監視操作卓は2台の産業用パソコンで構成されており、現状では、1台は操作不能の状態で、もう1台は動作遅延やフリーズ現象がみられるが、現在この1台で処理場の監視を続けている。

対応としては、2台の監視操作卓の更新と、互換性を保つためにサーバー盤の機能増設を行うものである、更新するシステムは、これまでと同様のシステムである。

● 大竹市認定こども園設置条例の制定について

● 大竹市子育て支援センター条例の一部改正について

Q 認定こども園の定員と、年齢別内訳について問う。

A 保育認定の定員は、ゼロ歳が9名、1歳が26名、2歳が30名、3歳が30名、4歳が35名、5歳が35名で計165名。

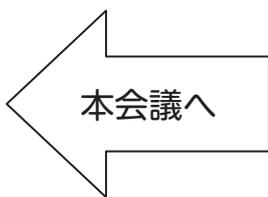
そして教育認定の定員が3、4、5歳いずれも5名で計15名であり、合計で180名である。



建設中の（仮称）おがたこども園

● その他の議案 2件

採決の結果、すべての議案が原案のとおり可決



本会議での採決の結果
 原案のとおり可決